

研究集会

先進機能性表面・構造を創出する レーザー表層加工

レーザー表層加工は、ナノスケールからマクロスケールの表面微細構造の形成技術、光化学的な表面改質技術、コーティングによる付加加工技術など、新たな機能性表面を創生する手法として、近年、注目されている加工技術です。本研究会では、「先進機能性表面・構造を創出するレーザー表層加工」をテーマに研究会を開催し、最新のレーザー加工の研究動向を把握するとともに、次世代加工技術における研究課題やその応用等について議論を行います。

日時：令和2年9月29日(火) 13:00~17:00

会場：大阪大学 荒田記念館 (〒567-00047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1)

主催：大阪大学接合科学研究所

共催：レーザー学会次世代産業用レーザー技術専門委員会

参加費：無料

プログラム

13:00 開催の挨拶

13:05

細菌・ウイルスリスクを低減する高輝度青色半導体レーザー銅コーティング技術開発

大阪大学接合科学研究所 塚本 雅裕

13:35

金属と微生物の相互作用～微生物腐食から抗菌性金属まで～

秋田大学 宮野 泰征

14:05

レーザー転写を利用した付加型微細パターン形成

産業技術総合研究所 奈良崎 愛子

14:35

フェムト秒レーザーアブレーションによる表層加工の学理解明に向けた取り組み

京都大学化学研究所 橋田 昌樹

15:05-15:20 休憩

15:20

フェムト秒レーザー誘起プラズモニック近接場アブレーションによる表層ナノ加工

東京農工大学 宮地 悟代

15:50

超短パルスレーザー加工 適用の現状と今後の展開

タマリ工業 三瓶 和久

16:20

先進機能性表面を創製するレーザー表層加工

大阪大学接合科学研究所 佐藤 雄二

17:00 閉会